

「田んぼの生物多様性向上10年プロジェクト・キックオフ集会 講演資料
(2013.02.09、小山市立生涯学習センター)」

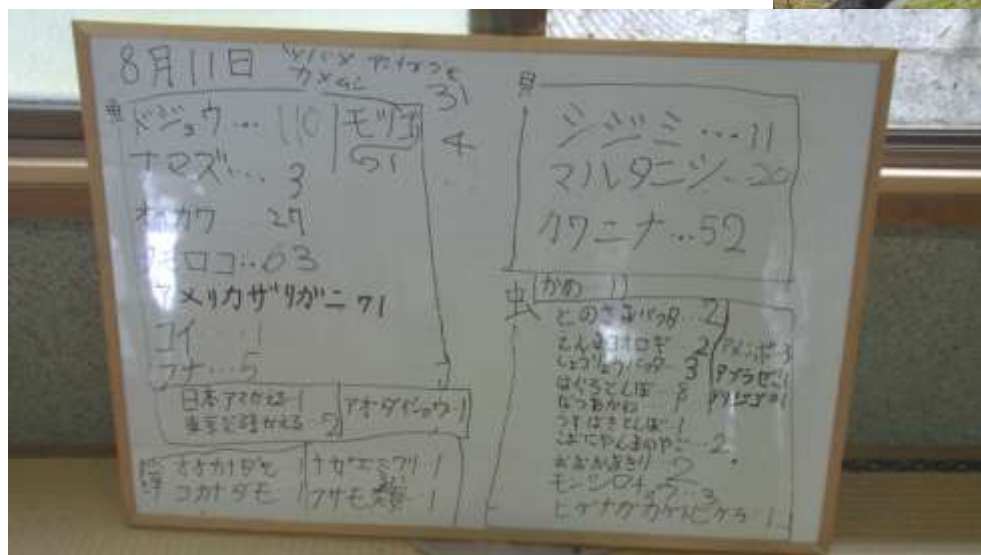
小山市における 田んぼまわりの生きもの調査

NPO法人オリザネット



地域環境への
「まなざし」を育み、
見つめなおす

- 小山市内75地区で、田んぼや農業水路、ため池などで、生き物調査活動を開催
- 農家、育成会、老人会など、みんなと一緒に生きものの調査。
- 夏と秋、2回。



平成19年から始まり、今年で7年目
農地・水・環境保全向上対策事業
(現:農地・水保全管理支払い交付金)

栃木県では生き物調査が取り組みの
必須項目になっている。

県内378組織(H23年度)

小山市は75組織、(H23年度64組織)
で、もっとも活動組織数が多い。

栃木県

エコアップ活動（H21年度より）

- 生き物調査のステップアップとして、地域環境を改善するための、エコアップ活動が開始
 - 生き物の生息環境の向上を目指す取り組み
 - 畦の機械除草、土水路の維持管理など
 - 中干し開始延期、泥上げや藻刈りの工夫など
 - 魚道、ふたかけ、浮島の設置など
- 多様なメニューが提示された

平成23年度 農地・水保全管理支払交付金

田んぼまわりの生きもの調査 結果報告書



平成24年10月

栃木県農地・水・環境保全向上対策推進協議会

エコアップ活動の実施状況



エコアップに位置づけた内容や感想

①生きものだまり、魚だまり

景観形成の実践活動としてハスを植栽しており、美しい花を咲かせています。ここに、多種多様な生きものが年間を通じて生息できるように、U型水路を活用した「生きものだまり」を作りました。水深が浅いときにサギ等の大型鳥類に狙われないよう、生きものだまりの上部に網を掛けています。

和久自然環境保存会(宇都宮市)



②機械除草部分の拡大

まず自分たちですぐにできる活動として、機械による除草作業の拡大から実施しました。

緑を保全し、在来植生を維持向上させていきたいです。

前沢環境保全会(益子町)





③生きもののだまり、魚だまり

U型水路を逆さに入れた生きもののだまりには、少しではあるが生きものが集まる傾向が見受けられる。

桜川みどりの里づくりの会(市貝町)



④土水路の確保、管理

近年、多くの水路がコンクリートU型水路化していくなか、地域内にのこる土水路について定期的に草刈等を実施し、管理を継続しています。

島田南若あゆの里(小山市)



⑦生きものだまり、魚だまり

通常は、両生類の移動経路を確保するために用いられるコンクリート蓋の設置ですが、私たちの組織ではメダカやドジョウの隠れ家としての効果が高いです。

設置状況：幅50cm、深さ40cm、長さ5.0m

中里毘沙門の郷(小山市)



⑧水田内の避難場所(テビ、承水路)

今年もテビを設けました。マルタニシやシジミ類、アカハライモリ、ドジョウ、カエル類などの生きものが、このテビで生息していました。さらに多くの生きものが生息できる場所にしていければよいと思います。

上安沢環境保全実行委員会(矢板市)

⑨両生類(等)の移動経路の確保



⑨両生類(等)の移動経路の確保

昔はこの場所は川でした。山からは清水が何箇所も湧き出ていて、河原には魚やサワガニが多く生息し、タヌキやキツネ、イタチなどの小動物も山から下りてきました。圃場整備後は川も河原もなくなりましたが、今でもその清水は湧き出ています。タヌキやキツネ、イタチもたまに見かけます。そのような場所に、エコアップ活動の「コンクリート水路への蓋」を設置しました。昨年とあわせて2箇所です。少しでも目に見える形で効果が現れることを期待しています。

山苗代環境保全実行委員会(矢板市)



⑩生きものだまり、魚だまり

これまで、メダカ池へのさまざまな取組を実施してきましたが、今年のメダカ池の観察では水草の根に20個ほどのメダカの卵が確認されました。その後、稚魚が15尾くらい確認でき、子供たちが直接触れることのできる環境教育の場所となり、エコアップ活動は成功したと感じています。また、更なるエコアップ活動として、U型水路を逆さに設置し、魚の隠れ家を創出しました。

飯岡まちづくり推進委員会(塩谷町)

エコアップ活動の実施状況

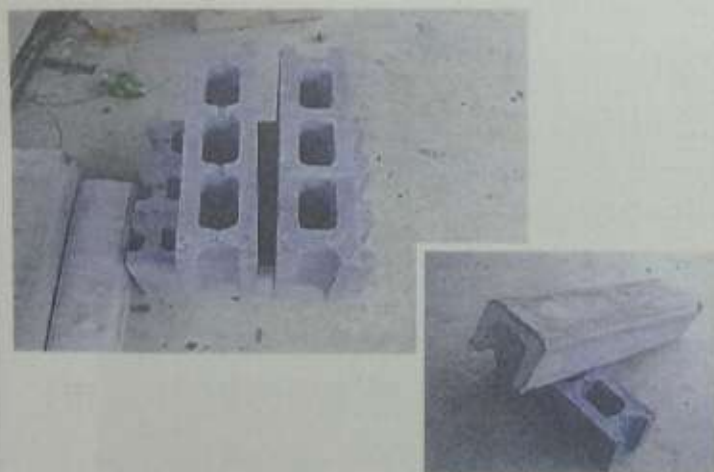


エコアップに位置づけた内容や感想

⑪ビオトープの設置、生きものだまり、生息場環境の改善、地域環境の美化

増設したビオトープ池(その周辺)は、生きものの生息場環境の改善となり、生きものだまりや魚だまりなど様々なエコアップへとつながっています。また、池に隣接する場所は機械除草を行い、ひとつのエコアップ活動となっています。さらに、草木等の植栽による環境美化活動を進め、山裾からビオトープ池への生きもの緑のネットワーク確保や生息環境の確保に努めています。

まちづくり井戸神推進会(塩谷町)



⑫生きものだまり、魚だまり

生きものだまりは、写真のようなU型水路やブロックを設置しています。毎年8月の生きもの調査は、この生きものだまりを中心に実施しています。本組織は水田魚道も設置しています。

上平まちづくり推進会(塩谷町)



⑬羊の飼育による畦畔等の除草拡大

近年の農業担い手不足により、草刈の労力軽減のために維持管理は除草剤に頼ってしまう傾向があります。このままだと、短期間で生きものが激減してしまう恐れがあるため、我が保全隊では、飼育する羊に畦畔や隣接する雑木林内の雑草を食べてもらうエコアップ活動を取り入れています。

羊による除草を行うことで、たくさんの生きものが生息できる環境づくりを目指しています。

高月地区資源保全隊(さくら市)



⑭土水路の確保、管理、機械除草の拡大

夏、秋の年2回、同じ場所で生きもの調査を実施しました。

基盤整備未実施地区の土水路は、水草も多く、多種多様な生きものが確認できます。一方、整備済のU型水路は水草も少なく、生きものも少ない状況です。その結果違いは、子供たちも実感したようです。土水路は、子供たちが自然と遊ぶための楽しい場所だと思います。維持管理していくことは大変ですが、今後も子供たちが自然に触れる場所として提供していきたいと思います。

南金丸地域・環境・資源を守る会(大田原市)



⑮水路環境の改善(落差工解消、多様な流れ創出)

昨年度まで設置していた手作り魚道が東日本大震災により大破してしまった。そこで、今年度は水路内の落差工を解消することにより、魚類等の活動水域の拡大を狙いました。

方法: 落差部に大きな玉石を投入し、落差を解消することで水のネットワークを確保する。

効果: 魚類等の活動水域が広がるとともに、玉石の隙間が魚類等の隠れ家となる。また、堆積物が少なくなる。

蛭田環境を守る会(大田原市)

エコアップ活動の実施状況



エコアップに位置づけた内容や感想

⑩水路環境の改善

水路へ転落してしまったカエル類を這い上がらせようと、自作のスロープを設置しました。

子供たちから「何なのそれ？」と質問され、内容を伝え、と、「カエルさん喜ぶね」と笑顔で応えてくれました。「生きものを大切にする心」子供たちにも伝わったような気がします。

平沢農村環境保全会(大田原市)

⑪水路環境の改善

排水路の落差が大きく、魚類等の遡上の阻害要因となっているため、石積みによる落差の解消を図りました。

石積みでは、大雨時の増水や激流に耐えられず、恒久的な施設にななりません。排水路機能と自然石積みの兼ね合いでどう対処すべきか検討中です。

下石上自然保存会(大田原市)



⑱冬期湛水

本年度生きもの調査を実施した圃場は、化学肥料不使用、農薬は田植え時に1度の使用で栽培した場所です。蓮華を緑肥として利用し、中干しは行わず水を切らずに管理しました。昨年より早期の調査でしたが、多くの生きものが確認できました。来年度に向け、水生生物を増やすため、冬期間の湛水を行うことにしました。湛水することで生物層の維持、早期回復を狙います。何のために行っているのか？など、多くの人への関心につながる事を期待しています。

西遅沢地域資源保全隊(那須塩原市)



⑲生きものだまり、魚だまり

小学生子供会と育成会そして営農組合が連携し、毎年8月に生きもの調査を実施しています。

今回、取組効果の確認と実態把握のため、生きもの調査場所付近の用水路に塩ビ管を設置し実践しました。

上牧の環境を守る会(佐野市)



⑳生きものだまり、魚だまり

トウキョウサンショウウオは、低山地の湧水のある雑木林に生息しています。

本地区でも、トウキョウサンショウウオを確認しており、エコアップ活動において、生きものだまりを創出しています。

3月ごろには湧水のだまりに「ドーナツ型」の卵塊を産んでくれると思います。

山越ふれあいの里づくり協議会(佐野市)



図 49 生態系保全活動の取組状況

おわり